

# 令和元（2019）年度 放課後活動指導者研修 実施報告③

実施日：令和元年7月18日（木）

## ○ 講話・演習「もしもの時も落ち着いて～不審者から子どもを守る～」

栃木県警察本部生活安全企画課 課長補佐 薄井 健 氏 他3名

前半は、子ども教室や児童クラブに不審者が現れた場合の対応の仕方等について、講話をいただきました。受付を通っているか、用件を聞いたときの反応はどうか等が不審者を見分けるポイントであり、退去を求める際は、相手を興奮させないように丁寧に対応することが大切とのことでした。

また、危険箇所の点検と施設内の巡回、いざというときの職員の役割分担の確認等日頃から行うべき対策についても教えていただきました。



後半は、不審者がやってきたときの対応の仕方をロールプレイで体験しました。4つのパターンを想定し、それぞれの場面での適切な対応法を考え、演習しました。頭ではわかっているつもりでも、咄嗟の時にはなかなかうまく動けないことがわかり、とても良い体験となりました。また、防犯グッズとして設置されていることの多い「さすまた」の使い方や、不審者が退去に応じない場合の110番通報のタイミング、受け答えの仕方なども学ぶことができました。



## ★ 受講者の声 ★

- ・不審者が来ることや事件になり得ることはいつあるかわからないので、日頃の心構えが大切であると感じた。緊張感をもって子どもたちを迎えなければならないと改めて気付かされた。
- ・不審者から、子どもたちの安全を確保して守るために、指導者の役割分担や子どもたちへの防犯訓練が必要だとわかった。
- ・不審者対応には、巡回と声掛けが大切だということを学んだ。
- ・実際に不審者が侵入してきたり遭遇したりした場合の対応について、実技を交えて体験できて、対応の難しさや突然の時の対処の仕方等がとても勉強になった。
- ・110番の通報の仕方を具体的に学ぶことができたので参考になった。何を聞かれるのか知っているだけでも、少し落ち着くことができると思う。
- ・子どもを守ることはとても大変なことであり、いろいろな情報を集め、いざというときどのようにしたらよいのかの対策も随時勉強したいと思った。
- ・危機管理マニュアルを作成しようとしているので、参考になった。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで

TEL:028-665-7206

e-mail:[skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp](mailto:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp)